



卒業生からのバトンを引き継ぎ、新たな挑戦を！

校長 窪田 俊介

3月17日（月）、高岡市長代理 鶴谷俊幸 様、PTA 会長 村井博昭 様をはじめ、ご来賓の皆様、保護者の皆様にご臨席を賜り、令和6年度卒業証書授与式を無事挙行することができました。本当にありがとうございました。卒業生は、どの子供もとても晴れやかな表情で小学校を巣立っていきました。



昨年4月の始業式で子供たちには、こんな木津っ子になってほしいという願いを3つ伝えました。

- ①目標に向かって挑戦できる子供
 - ②自分で考えて行動できる子供
 - ③自分の気持ちや思いを積極的に表現できる子供
- の3つです。

この1年を振り返ってみると、卒業生はこれら3つの目標を果たそうと、学校生活のあらゆる場面で最高学年としてよい手本を示してくれました。児童会ではいろいろなアイデアを出し合い、新たな活動に積極的に挑戦して、明るく楽しい木津小学校にしようと努めてくれました。特に、得意なことをみんなの前で発表する「チャレンジライブ」の取組は、回を増すたびにレベルアップし、多くの木津っ子が「自分も挑戦してみよう」という気持ちを高めました。今では木津小学校にとって、なくてはならない大切な活動のひとつとなりました。また、児童会スローガンにある「はっきりとした挨拶をしよう」という目標を達成するために、児童玄関では毎朝「あいさつマン活動」が実施され、これによって元気で大きな声であいさつをする児童が増えました。卒業生を中心とした多くのチャレンジによって学校全体に笑顔があふれ、明るく楽しい学校になったと思います。

人はチャレンジすることで、能力や視野を広げ、大きく成長するきっかけを得ることができます。チャレンジには、失敗はつきものですが、失敗からは多くのことを学ぶこともできます。卒業生はいろいろな場面で、失敗を恐れずチャレンジしようと、一步を踏み出すことの大切さを示してくれました。そして挑戦することで得られる達成感や成功体験が自信につながり、さらに新たな挑戦への原動力になることを下級生に教えてくれました。卒業生が示してくれたお手本をしっかり引き継ぎながら、来年度も「何事にも積極的に挑戦する」木津っ子が育ってくれることを願っています。

第8回チャレンジライブ 3 / 11

今年度最後のチャレンジライブが開催されました。歌やダンスの発表に加えて、今回は手話やバイオリン演奏といった新たな演目に挑戦する木津っ子もおり、みんなの前で自分自身を表現しようとする意欲がかなり高まってきたようです。来年度もどんな挑戦が見られるのか、今からとても楽しみです。

